

# サプライヤーに求められる マインドセット

*Traceability*  
*Sustainability*

ポストコロナにおいて、サステナビリティ分野における法規制が着々と進んでおり、欧州ブランドはこれまで以上に「社会問題解決に向けた企業理念」を明確に打ち出し始めています。

本ウェビナーでは、具体的に欧州ブランド内で何が起きているのか、また彼らが考えるサステナビリティとは何かを明確にすると同時に、この変革期にサプライヤーに必要となるマインドセットとは何か、3名のパネリストが実体験や実例を交えながら解説します。

特に第2部では、中小企業の生産者の場合「どこからどう取組んだらいいのか」その具体的な手法も紹介します。欧州へのテキスタイル輸出にご関心の中小企業の皆様は、是非奮ってご参加ください!

日時	<b>ライブ配信</b> 2023年3月16日(木) 10時30分~12時00分
場所	オンライン
アプリ	Zoom
主催	ジェトロ
参加費	無料
定員	500名
対象	欧州市場で取引を始めている、もしくは市場参入を目指す中小テキスタイル企業 ※コンサルタントや土業の方の参加はご遠慮下さい

**オンデマンド配信** 後日申込み者を限定にオンデマンド配信を予定

## プログラム

### 第1部

#### 欧州ブランドのサステナビリティ戦略の「今」(40分)

- ① コロナ禍後の欧州現地の様子、ライフスタイルや嗜好の変化
- ② 2023年以降、現地見本市で目にした、欧州ブランドの構造変化、サステナビリティ・トランスフォーメーション(SX)取組例
- ③ 欧州ブランドが考える「サステナビリティ」とは(透明性、環境負荷、アニマルウェルフェア、人権等)
- ④ 調達先(サプライヤー)に求める要件

### 第2部

#### サプライヤーに求められる「マインドセット」(30分)

- ① 「マインドセット」にあたって、まず取組むべきこと
- ② 日本中小企業生産者のサステナビリティ取組事例
- ③ 経営の方向性も踏まえた「価値創造マッピング」に必要な5つのキーファクター
- ④ 「今」から始められること

パネリスト



向千鶴氏

[WWDJAPAN] 編集統括 兼 サステナビリティ・ディレクター  
東京女子大学卒業後、エドウィンに入社。営業部で4年半、営業職を務める。日本繊維新聞社記者を経て2000年にINFASパブリケーションズ入社。記者として主にデザイナーズブランドの取材を担当。「ファッションニュース」編集長、[WWDジャパン]編集長などを経て21年4月から現職。

パネリスト



池田豊氏

有限会社 湧元 代表取締役社長  
商社にて繊維事業に従事、イタリアでSPA向けのニット製品の製造会社を設立。日本帰国後、2003年に有限会社湧元を設立。ジェトロ事業でもテキスタイル関連の専門家として、多くの中小繊維企業の輸出促進を支援。現在も日本のクラブトマンシップを特徴にした素材の欧州ラグジュアリーメソンの売り込みに携わり、現地業界事情に精通。

モデレーター



山内秀樹氏

大手商社に長年勤務するなかで、アパレル業界のサステナブル、サプライチェーン、およびブランディングに精通、新規事業の立ち上げや海外著名ブランドの日本市場への参入に携わる。現在はビジネスコンサルタントとして、日本のファッション業界において複数の企業の戦略顧問、早稲田大学等で非常勤講師を務めている。



参加お申込みはコチラ

<https://www.jetro.go.jp/customer/act?actId=B0062542V>

**JETRO**

Japan External Trade Organization